

第2回ワークショップ「市役所や議会に望むこと～あなたならどうしますか」Dグループ発表

市長・職員のイメージ	議会のイメージ	市民にできること
<p><市長></p> <ul style="list-style-type: none"> 市長がいろんな催しに出てくれる・財政難をなんとか片付けている こと細歩いており感謝、直接市民への声かけている 市長の市政に対する顔が見えない。 市営住宅の耐震化についてはどう考えているのか 国の方針であった頃、それに照してマイカル誘致。案の定中心市街地が開古島になった 石狩湾新港は風の関係で砂がたまり、毎年しゅんせつが必要。ばく大な金がかかっている 市長と地域住民は選挙のときだけでは 小樽港があるにもかかわらず、石狩湾新港に賛成。毎年億の金を使っている <p><職員></p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい年金をもらえることを親切におしえてくれて障害年金を受けることができた 年1回対福祉部障がい係と懇談している、調べて丁寧にに対応してくれている 市役所での対応がよい。市民のために頑張ってくれている 窓口で相談ののってくれる・市庁舎の案内係の女性はやさしく対応していることもある 団体とのパイプ役で顔になっている・若い職員が勉強していると感じることがある 悪いイメージはない。とくに障がい者副関係は 職員の働く姿がみえにくい・小樽の高齢化で職員がもっと丁寧にしてほしい 職員の考え方が無いため、話し合っても上から上からと、なかなか解決につながらない 窓口対応が雑な面があり、事務的なこともある。・職員の忙しさの格差をなんとかできないか。 曇あかりの路に市職員が腕章をつけて見に行くだけ、せめてキャンドルにあかりをつけたり、灯の雷洞を作ったり、10分でも良いから行ってほしい。作業員ボランティアの苦勞を感じる事。 職員は聞かれたこと以外答えない。一歩進んだ対応がほしい 職場の繁閑の差がひどい・ある課と他課のつながりが無く2、3回まわされることがある 市民を呼びつける部署が多い・市役所のイメージが一方通行で、市民から声を上げないと教えてもらえない 外歩きの職員は、市民とのつながりを感じられるが、事務方はそのつながりが薄いと思う。 縦割り行政の欠点がある・小樽広報など市長の市民に対する声がとどかない。 地域経営という思想がない・政策の具体化が不透明 	<p><姿勢></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域をよくする展望が見えない。 市民のために何をしているかわからない 議員が市民と語り合っていない。 選挙のときだけ立派な公約で実行ができない 勉強していない <p><党派問題></p> <ul style="list-style-type: none"> 議員に当選したとたん先生になり上から目線で物事を捉えているひとがいる 小樽市議会は共産党以外オール与党なのはいいが、 党派にこだわり各自の意見が市民に見えない。 ほぼ与党ばかりで批判する力に欠ける <p><運営></p> <ul style="list-style-type: none"> 市議会の傍聴席にいますが、その議会についての質問ができないのはなぜ 議員と語る会に一部の議員は積極的に参加。意見を言ってくれる。 陳情した本人に趣旨説明をさせるようになった(前進) 陳情提出の際、議会事務局は親切丁寧である。 	<p><コミュニティーの活性化></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくりは地域の人々が必要性を感じられる活動をする 向こう3軒両隣とのつながりを作っていきべきで、それを軸に活動する 市を利用して横のつながりを強める。 <p><産業振興></p> <ul style="list-style-type: none"> 小樽にあった起業家セミナーを行う。 おたるシャコ祭りをおたるガサエビ祭りとして小樽を売り込むことにしよう <p><財産活用></p> <ul style="list-style-type: none"> 市の公共施設を安く開放して、いつでも利用できるようにする 空物件でのイベント <p><町を知る></p> <ul style="list-style-type: none"> 小樽の財産に誇りを持つ 街をよる努力をする
<p>市長・職員の役割</p> <p><市長></p> <ul style="list-style-type: none"> 小樽に居住できる要望を聞きそのPRに努める 市内にある空き住宅に対する再生方法再利用等を考えてほしい 人口減でも産品を高度に加工して収入の稼げる体制に作りあげる 郷土愛あふれる市長になってほしい 人口減は避けられないので、身の丈のあったものを。病院等も。 市長は赤字財政解決に新しい政策を出してほしい 小樽の財政からくるまちづくりでなく、手作りのまちづくりに力を入れてほしい 市長と市民の対話を1ヶ月に1回、市長を囲む座談会を行ってほしい <p><市職員></p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の年金バランスを考えてほしい もっと市民に知らせ、市民は関心を持つ・市民の声に耳を傾けマニュアルでない勤務してほしい 女性職員を増やし、女性が生き生きとしたまちづくり 観光部を作り他部署の職員も兼任で入れるマトリックス組織 縦割りの欠点のカバー。横断的組織を作れ。 職員も市で行う催事には極力参加してほしい 各ボランティア団体の活動をもっと取り上げてほしい 市役所の中の人事異動の際、引継ぎを重視してほしい 職員の職務の分析をして再配置 	<p>議会の役割</p> <p><姿勢></p> <ul style="list-style-type: none"> もっと職員も議員も街へ出て市民と語り 市民の声を市長だけでなく、議会にも届けたい <p><党派問題></p> <ul style="list-style-type: none"> 党派を超えた勉強会、政策集団を。 議員さんは党派を超えた議会運営が必要だと思う <p><運営></p> <ul style="list-style-type: none"> 女性議員を増やしてもっと積極的に動いてほしい 市会議員の削減(28名→23名にすること) 	<p>市民にできることについての要望</p> <p><市への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> 市は市民が力を出せるように工夫する事 情報の提供 市が学んだこと(研修)を反映させてほしい 予算付けをしてほしい 人為づけ協力

自分たちにならう考え実行する